

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 希望の郷

目標達成計画書

作成日: 平成 27 年 11 月 27 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		グループホームの今後の在り方について	開設時の利用条件は、「日常生活が出来て、共同生活の出来る人」であったが、昨今の認知症の重度化に合わせて、看取りまでグループホームで実施していくことが常識になってきているので、職員の体制は現状のままで、どのように看取り介護が出来るのかを、職員全員で検討していく。	職員の持てる力をさらに引き出すために、外部の研修会に交代で参加して貰い、介護技術の向上と意識の高揚を図り、職員一人ひとりが外部の風を受けて、人として成長して貰い、職員間の協力体制を強化し、チーム介護を充実し、職員全員が今以上の介護力を身につけて、利用者の重度化の支援に取り組んでいく。	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。